

部長会議開催結果 概要

●日時	令和4年10月6日(木) 午後1時50分から午後2時50分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席(代理出席は○)			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長
	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、課長代理、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ 2 報告事項 (1) 工事請負契約の締結について 契約検査課、公園課 (2) 特定生産緑地の意向確認状況について まちづくり計画課 (3) 秦野市立ほりかわ幼稚園のこども園化に係る基本方針の見直しについて 教育総務課、保育こども園課 (4) 中学校給食に関するアンケート結果について 学校教育課 (5) 土地利用委員会調整部会の審議案件について 開発指導課			
●会議概要	1 市長あいさつ ・3年ぶりに通常開催した「たばこ祭」は、9月24、25日の2日間で23万7千人が来場し、打ち上げ花火やジャンボ火おこしなど、久しぶりに見ることができて良かったとの声が寄せられている。皆が力を合わせた結果であり、感謝している。 ・高橋副市長が10月5日付けで就任した。新体制のもと、課題の解決や市政発展のために、各部局が連携・協力して職務に当たってほしい。 ・10月1日にオミクロン株対応ワクチンの接種を開始し、3・4回目のワクチン接種も進んでいる。本市の60歳以上の4回目接種率は、9月27日現在で79.36%と県内トップであり、引き続きワクチン接種を進めながら、イベント等については基本的な感染症対策を徹底した上で、充実した事業にしてほしい。 ・市議会と二市組合議会が閉会した。決算の認定のほか、指定管理者の指定や補正予算など全ての議案が原案どおり可決された。議会で指摘された事項は部局内で議論し、施策の推進や来年度予算につなげてほしい。 ・市議会最終日の討論で、提案説明や議案資料が不十分との意見があったが、市民に誤解を与えるような発言に対しては、しっかりと説明できるよう準備、対応してほしい。 ・令和5年度予算の編成に当たっては、これまでの状況を踏まえ、アフターコロナを見据えながら、総合計画に掲げた事業の推進のほか、表丹沢魅力づくり構想や小田急4駅周辺のにぎわい創造を一体的に進め、森林観光			

都市に関する施策、デジタル化やカーボンニュートラルに関する事業などは特に推進してほしい。なお、森林観光都市に関する施策は、森林整備やナラ枯れ対策など山林に直接関係する事業だけでなく、新東名の開通を機に、表丹沢魅力づくり構想や4駅周辺のにぎわい創造などを一体的に進めて全国にPRしていくものなので、森林観光都市でどのような生活を営むのかを考えて、全庁的に取り組んでほしい。

- ・コロナ禍も2年8か月と長期にわたり、地域コミュニティへの影響などが懸念される。地域の様々な団体を注意深く見守り、活動の見直しや強化につなげてほしい。
- ・予算編成は事業を見直す機会であり、行政サービスの質を高めるために様々な分析を行い、部局内で議論して見直しを徹底する姿勢で臨んでほしい。部局長のリーダーシップのもと、意識改革を徹底してほしい。
- ・この季節は仕事が充実する時期だが、気温差が激しく、体調を崩しやすいので、健康に留意して取り組んでほしい。

2 報告事項

(1) 工事請負契約の締結について

契約検査課、公園課

【説明】資料に基づいて説明

(2) 特定生産緑地の意向確認状況について

まちづくり計画課

【説明】資料に基づいて説明

問. 特定生産緑地への指定意向の状況は、近隣他市等と比較してどうか。

答. 近隣他市の状況は出そろっていないが、国からは9割程度が移行するとの予測が示されている。

(3) 秦野市立ほりかわ幼稚園のこども園化に係る基本方針の見直しについて

教育総務課、保育こども園課

【説明】資料に基づいて説明

問. 公私連携法人が運営を開始する令和7年度以降の収支はどのようなか。

答. ほりかわ幼稚園の運営経費として約5,000万円の減額、土地の賃貸料として年間300万円弱の収入を見込んでいる。

問. 今後の進め方について、公私連携法人の決定を令和5年5月とし、協定の締結は翌年3月末とした理由は何か。

答. みなみがおか幼稚園のこども園化の際に、協定に定める詳細事項の決定に時間を要して3月末に締結したことを踏まえ、令和6年3月末までに締結する予定とした。

(4) 中学校給食に関するアンケート結果について

学校教育課

【説明】資料に基づいて説明

問. 満足の割合の目標設定はどのようなか。

答. 7割以上を目指している。

問. アンケート実施日を、アジフライと夏野菜カレーの献立の日とした理由は何か。

答. 生徒には肉料理が好まれる傾向があるが、提供が少ない「魚の献立の日」と、地場野菜を豊富に活用した「ふるさと秦野食育 DAY」を選定して、生徒の率直な意見を聴取することとした。

(5) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

開発指導課

【説明】資料に基づいて説明